

寒冷地対応免震ゴム支承

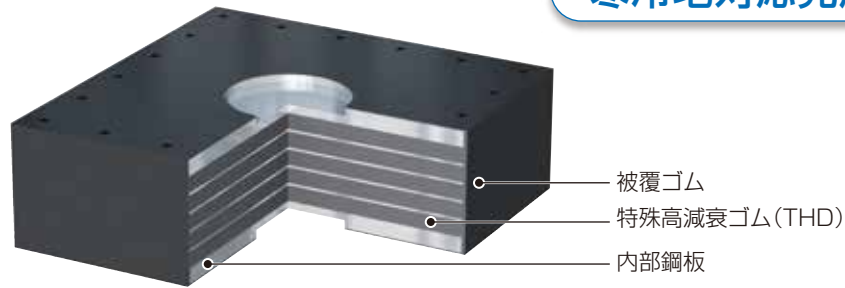
THD

Temperate High Damping Rubber



環境に優しい材料
優れた免震性を発揮

THDの構造



寒冷地対応ゴム支承 THDの特性

優れた温度依存性

特殊なゴム配合により $-30^{\circ}\text{C} \sim +50^{\circ}\text{C}$ での性能変化が少なく、寒冷地域から温暖地域のあらゆる環境で免震性能を発揮します。

高い免震性能

高ひずみ時の高い減衰性能と低いハードニングにより、レベル2地震時における下部構造への負担荷重を低減させることが可能となります。

THDの特性

表1.せん断弾性係数の温度依存

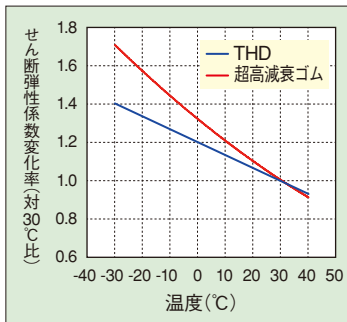


表2.等価減衰定数の温度依存

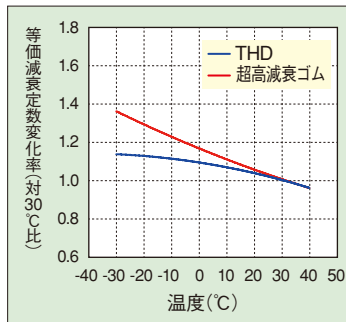


表3.せん断弾性係数の歪依存 (G12)

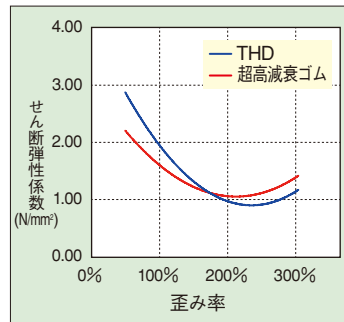
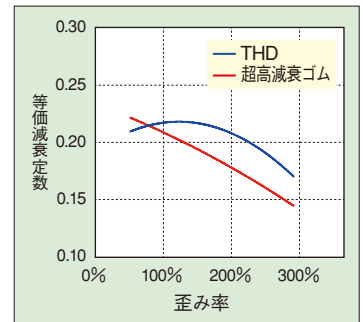


表4.等価減衰定数の歪依存 (G12)



※試験結果は自社データを示す。

THDの品質規格

THDの特殊高減衰ゴム材料の試験方法と規格値 (平成16年度版 道路橋支承便覧による)

項目	単位	規格			試験方法	
		本体ゴム		被覆ゴム		
		G8	G10	G12		
基本特性	破断伸び ^{※1}	%	650以上(600以上)	600以上(550以上)	550以上(500以上)	引張試験 JIS K 6251
	引張強さ	N/mm ²	10以上			
老化試験	25%伸張応力変化率	%	-10~+100(70°C×72hr)			空気加熱老化試験 JIS K 6257
	伸び変化率	%	-50以上(70°C×72hr)			
	圧縮永久歪	%	60以下(70°C×24hr)			
	耐オゾン性 (40°C±2°C)×96hr	—	肉眼観察でき裂のないこと			静的オゾン老化試験 JIS K 6259
	50pphm 50%伸張 ^{※2} (伸張後30分以内にオゾン槽に投入する)	—	—			
耐水性 (質量変化)	%	10°C以下(蒸留水温度 55°C±2°C 浸せき時間 72hr)			浸漬試験 JIS K 6258	
耐寒性	—	衝撃ぜい化温度が-40°C以下であること			低温衝撃ぜい化試験 JIS K 6261	
接着強さ	N/mm	7以上			90°剥離試験 JIS K 6256	

※1:シート加硫したダンベル試験片による値とする。製品から採取した試験片の破断伸びの規格は()とする。

※2:NEXCO構造物施工管理要領による。



【免震デバイス技術課】
〒485-8550 愛知県小牧市東三丁目1番地
TEL.0568-77-1318(ダイヤルイン) FAX.0568-73-4160
E-mail: product.info@jp.sumitomoriko.com
http://www.sumitomoriko.co.jp/



【本社・鋼構造営業部】
〒210-9567 川崎市川崎区白石2-1
TEL.044-322-3760 FAX.044-355-8543
E-mail: koukouzo@nipponchzo.co.jp
http://www.nipponchuzo.co.jp